

偏差値45から75へ 数学の成績を上げる方法

数学が苦手な人へ
安心してほしい
数学は暗記科目なのだ。
暗記科目ということは、
頭がよくななくても、時間をかけて
一生懸命やった人の点数が高くなるのだ。
だから、数学ができる人を、
むやみに恐れることはない。
数学ができなくても、心配要らない。
ただ、勉強時間が少なかつただけなのだ。
けして、頭が悪いわけではない。

目次

1. 数学は暗記の科目だ
2. 数学の成績をよくするために
3. 暗記する
4. 計算力をアップさせる
5. 概念を理解する
6. 字を綺麗に書く

1. 数学は暗記の科目だ

数学は、暗記の科目だということは、
わかる人はわかっている。

純粋な思考力を図るという目的ならば、
それは数学よりも国語のほうがあっている。

国語は、時間をかけて暗記しても成績は上がらない。

純粋な頭のよさが問われると言ってもよい。

その点、数学は違う。暗記なのだ。

確かに、数学の全く苦手な人

（中学数学を完全にマスターすることができなかった人）にとっては、
数学は、一部の頭のよい人にしかできない

特殊な科目と思うかもしれない。

その意味では、数学ができるということは

頭がいいということにつながるのかもしれない。

ただ、これは、早い段階で、振り落とされる人が
多くいるということである。

頭がよくななくても、中学レベルをじっと耐え、

まじめについていけば、あとは暗記である。

頭が悪くても、数学の点数を上げることはできる。

2. 数学の成績をよくするために

以下の4点である。

<1> 暗記する

→数学を勉強するときは、その回答方法を覚える。

<2> 計算力をアップさせる

→ケアレスミスがあると、点数は大きく下がる。

<3> 概念を理解する

→暗記することができるレベルの理解は必須。

<4> 字を綺麗に書く

説明しよう。

3. 暗記する

多く人は、数学の問題を解くときに、
わからなくても自分で解くことが重要だと考えていると思う。
しかし、これが違う。
武道などもそうであるが、
基本を身につけることが先ずは重要なのだ。
基本を体で覚えることが近道なのだ。
この基本をないがしろにして、自我流でやってしまうと、
その悪い癖がなかなか抜けなくなってしまうのだ。
時間をかけて、間違った解法をすると、その間違った内容が、
頭にしみこんでしまうのである。
苦勞が全く報われないことになってしまう。

4. 計算力をアップさせる

計算力とは、四則計算である。

足し算、引き算、掛け算、割り算である。

暗算が得意であれば当然有利だ。

しかし、ここで言うのは、高度なことではない。

計算を間違えないということだ。

数学の問題を解く中で、足を大きく引っ張るのは、

ケアレスミスによる計算誤りだからだ。

ケアレスミスがなくなると、安心して問題に立ち向かえる。

点数は大きくアップする。

5. 概念を理解する

数学は暗記だといった。暗記のために必要なことは何か。

それは理解だ。スムーズに暗記ができるようになるための理解だ。

たとえば、三角形の面積を求める公式、

その公式の意味を理解して（腑に落ちて）の暗記と、

全く理解していない状態での暗記を比べてほしい。

概念の理解の重要さはわかると思う。

6. 字を綺麗に書く

これも、ケアレスミスとつながる問題である。
計算過程のメモの5と6を取り違えたりしたら大きな損である。
ケアレスミスを防ぐためにも重要なことである。
さらに、字がきれいなことにより、イメージが沸き、考えが深まるのである。

以上を確実にこなすことができれば、数学だけでいえば、東大合格も可能である。

=====
ご意見等ありましたら、
下記へご連絡お願いいたします。

発行者 藤原一太郎
連絡先 hssk1101@yahoo.co.jp

こちらのブログも、ご参照ください
エクセレント ライフ
<http://hssk2101.seesaa.net/>
=====